

生徒会長選挙(立会演説会・投票)まで、残り2日と迫りました。各候補者や推薦人は、実に堂々と学級訪問演説を行っています。温かい激励の拍手をお願いします。また、特定の候補者への投票を強要したり、決して人気投票にならないようにしてください。



不退転

第 130 号
東江中学校
校長 神元 勉



国際連合は、1948年(昭和23年)12月10日第3回総会において、世界における自由、正義及び平和の基礎である基本的人権を確保するため、全ての

人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として、世界人権宣言を採択したのに続き、1950年(昭和25年)12月4日の第5回総会においては、世界人権宣言が採択された日である12月10日を「人権デー」と定め、全ての加盟国及び関係機関が、この日を祝賀する日として、人権活動を推進するための諸行事を行うよう、要請する決議を採択しました。

我が国においては、法務省と全国人権擁護委員連合会が、同宣言が採択されたことを記念して、1949年(昭和24年)から毎年12月10日を最終日とする1週間(12月4日から同月10日まで)を、「人権週間」と定めており、その期間中、各関係機関及び団体の協力の下、世界人権宣言の趣旨及びその重要性を広く国民に訴えかけるとともに、人権尊重思想の普及高揚を図るため、全国各地においてシンポジウム、講演会、座談会、映画会等を開催するほか、テレビ・ラジオなど各種のマスメディアを利用した集中的な啓発活動を行っています。

皆さんもお近くの催しに参加して、「思いやりの心」や「かけがえのない命」について、もう1度考えてみませんか？

平成29年度の「第69回人権週間」では、啓発活動重点目標「みんなで築こう 人権の世紀 ～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心～」を始め、17の強調事項を掲げ、啓発活動を展開することとしています。

HIV感染29人 8人はエイズ発症 17年沖縄県内



11/28(火) 11:54配信

12月1日の「世界エイズデー」を前に、沖縄県地域保健課は27日、2017年に県内でエイズウイルス(HIV)の感染が新たに判明した人は11月26日時点で29人だったと発表した。過去3番目に多く、うち8人はエイズを発症していた。

16年のHIV感染者は沖縄は人口10万人当たりで1・181人で全国3位、エイズ患者が0・347人で10位だった。

今年新しく感染が発覚した県内の29人は、全員が男性だった。県内での累計は368人で、男性の割合は9割を超える。過去最多は14年の33人。

県内の各保健所では、予約をすれば無料・匿名でHIVの検査を受けられる。世界エイズデーに合わせ、12月上旬は検査日を増やす。地域保健課の担当者は「思わぬ感染もあるので、ぜひ検査を受けてほしい」と呼び掛けている。

世界エイズデーは、エイズの広がり防止と感染者への差別解消を目的に、世界保健機関(WHO)が提唱している。